

# テーマ 人生100年時代を豊かに生きるための学び支援 ～学んで・鍛えて・ボランティア～

世界保健機関2016年によると、日本の「健康寿命」は74.9歳で世界1位です。また、平均寿命は男性が81歳、女性が87歳(厚生労働省2016年)です。さらに、海外の研究によると「日本では、2007年に生まれた子供の半数が107歳より長く生きる」との推計が「人生100年時代構想会議中間報告(平成29年12月)」に紹介されています。まさに、「超長寿社会」を迎える我が国は、人生100年時代を見据えた「人生の再設計」・「社会保障制度の再設計」等が必要になり、それに伴い急激な変革の波が押し寄せてくることが予想されます。

国では「人生100年時代構想会議」を設け、「100年という長い期間をより充実したものとするためには、生涯にわたる学習が重要である。」等とし、「人づくり革命」として「幼児教育の無償化」「教育の効果と高等教育の無償化」「リカレント教育」「大学改革」等を提言しています。

このような中で、「中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会」は「未来の必要」を掲げ、各県の実行委員の皆様との連携・協働により地域の課題解決実践事例等を発表・提言し続けて参りました。この会の注目は、参加者「手弁当方式」の会費制の運営にあります。また、実践者本人が、その活動事例を直接発表し交流できるところです。

第37回大会も、各県の「熱き思い」の実行委員会の皆様との「連携・協働」により28の実践研究事例が揃いました。また、三浦清一郎先生の特別報告は「老いてひとりを生き抜く 一暮らしに負けず、自分に負けず、世間に負けず」で、超長寿社会の我が国を見据えた報告です。特別企画:「男女共同参画時代の子どもの発達支援」は、第1部:「保教育」を展望する「飯塚プラン」の革新性として、飯塚市の片峯誠市長・森本精造元教育長、三浦先生によるインタビューダイアログ、第2部は、「通学合宿」のモデルである「庄内生活体験学校」の開設30周年の分析から「通学合宿」の30年を振り返るを探ります。登壇は、正平辰男(庄内生活体験学校館長)、大島まな(九州女子大教授)、小生によるインタビューダイアログを実施します。ご期待ください。

本会をご支援・ご指導くださいます福岡県教育委員会、福岡県立社会教育総合センターに心より厚く感謝申し上げます。

中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会 代表世話人 古市 勝也



## 情報交換会 19:00～

前日から宿泊されている方々と各県の実行委員会の皆様との情報交換会の場を設けました。一緒に食事をとりながら、心ゆくまで、ゆつくりと御歓談ください。



## 開会式 10:15～10:45 2F講堂

## 午前 実践発表① 10:45～12:30

2階  
第4研修室  
第1会場

- 大人としゃべり場  
～トークフォークダンスで語ろう～
- 地元農家の主婦力による「農家れすとらん つつじ亭」の開業とその知恵
- 地域住民力の活用事例がここにある!  
～おせっかいおばちゃんたちと行政のおいしい関係～

戸島 教明・宮園 祐美子  
宇野 紀子・花田 義朗(福岡県直方市)  
守永 和子(山口県萩市)  
安永 友紀(長崎県川棚町)

2階  
自由研修室  
第2会場

- 手作りの絵本と歌で伝えよう  
～手づくり絵本に願いを込めて～
- 子どもの「自立」を目指して  
～家庭教育力向上への新たな試み～
- チャレンジキャンプの11年  
～地域の人材多数が結集する力が見えてきた～

しまだ ようこ(鳥取県境港市)  
宇井 知隆(鹿児島県始良市)  
上野 祥子(熊本県熊本市)

4階  
視聴聴覚室  
第3会場

- より身近に、誰でもコンビニ感覚で立寄れる公民館をめざして  
～人的ネットワークの拡大と情報発信の挑戦～
- コーヒー一杯で学習を  
～むなかた市民学習ネットワーク33年の歩み～
- 学びの循環のある地域社会を目指して  
～成人講座の充実～

吉岡 理恵(長崎県諫早市)  
東 晏宏(福岡県宗像市)  
今村 靖(鹿児島県霧島市)

4階  
大研修室  
第4会場

- 歩く人を歓迎するまちづくり  
～熊本県美里町から発信するフットパス～
- 少子化時代でも運動会開催を可能にする学校と地域の連携
- 地域をつなぐ「BGレンジャー」(青少年育成支援事業)

濱田 孝正(熊本県美里町)  
村岡 健(鳥取県三朝町)  
黒葛原 緑(福岡県筑紫野市)

## ふるさと自慢ポスター展

あなたのまちの「村おこし」や「まちづくり」また、「ひとづくり」などのイベントポスターやチラシで、あなたの故郷自慢を広く全国にアピールしませんか?

- 参加資格 誰でも出品できます。
- 出品数 1イベント1点
- 提出方法 大会当日受付にお申し出ください。
- 留意事項 ポスター・チラシに限ります。展示品は返却できませんので予め御了承ください。



午後 実践発表② 13:30~16:10

2階 第4研修室 第1会場	■ 講座から生まれた「サンコアマルシェ」 ～子育て世代の方々が集う取組を通して～	水落 龍彦・小川 美弥 (福岡県筑後市)
	■ 講座の成果を市政に生かす ～「協働による那覇のまちづくり憲章(案)」と市民の実践力～	鏡波 正博(沖縄県那覇市)
	■ 夏祭り復活から地域活性化までの道のり ～We love MATSUO～	甲斐 裕崇(宮崎県椎葉村)
	■ 「まちづくり・いきいき成器の会」を掲げた住民総力の「しげ(地域)おこし」の展開 ～地区全体で取り組む「殿ダムウォーキング大会」成功手法を中心に～	福田 悦子(鳥取県鳥取市)
2階 自由研修室 第2会場	■ 県内に「うちどく(家読)」を広め隊! ～県域ネットワークにつながる教育行政と図書館の協働による成果～	末次 健太郎(佐賀県伊万里市)
	■ 笑顔広がる「大内コドモジカン」 ～自治会とまちづくり協議会の連携による子ども体験活動支援～	佐伯 玲子(山口県山口市) 神田 一之・石橋 京子 (広島県海田町)
	■ 「かいじゅうネット」で笑顔と輝きを! ～海田住民活動ネットワークの活動から～	■ 「カтары場」を活用した「ライフキャリア教育」の可能性 ～中学生から大人までの益田市民が本音の対話～
4階 視聴覚室 第3会場	■ 中高生の!幸雲南塾 ～中高生をターゲットにしたキャリア教育の取組～	青木 拓夫(島根県雲南市)
	■ 高校生による海・山で暮らす匠への「聞き書き」 ～海と山をつなぐ～	森光 康恵(岡山県総社市)
	■ 古民家を活かした「喜久家」プロジェクト ～世界の若者たちとの郷づくり～	浅野 長武(愛媛県伊方町)
	■ 子ども中心の地域づくり ～みんなが主役のまちづくり～	柴田 正行(福岡県篠栗町)
4階 大研修室 第4会場	■ 震災体験後の熊本市「秋津公民館」の「地域づくり」への取組 ～拠点避難所から得た、防災意識の核となる「つながり」への工夫～	宮尾 有(熊本県熊本市)
	■ 学生NPOと町教委との協働による教育支援活動と地域活力の創出	大西 浩正・高野 風人 (徳島県牟岐町)
	■ 災害に対処する力の育成と避難時支援のための協働の仕組みづくり ■ コミュニティ・スクールに関係していく公民館 ～公民館を核に取り組む地域学校協働活動と地域づくり～	川村 正人(大分県大分市) 和西 禎行・柿並 健吾 (山口県山陽小野田市)

特別報告 16:30~17:00 2F講堂

老いてひとりを生き抜く 一暮らしに負けず、自分に負けず、世間に負けず

報告者 三浦清一郎

第37回大会交流会 17:30~20:00 2F体育館

事例の発表者の方々や参加者の皆さん、各県の実行委員会の皆さんが一堂に会して、交流を深める場を設けています。それぞれの実践について語り合いませんか?ココでも探したい実践のヒントが見つかります。多数の参加をお待ちしております。

5/20  
(日)

特別企画「男女共同参画時代の子どもの発達支援」9:00~11:30 2F講堂

〈インタビュー・ダイアログ〉

下記登壇者等の役職名は、平成30年3月現在のものです。

第1部 「保教育」を展望する「飯塚プラン」の革新性

登壇者：片峯 誠 (飯塚市長)  
森本 精造 (元飯塚市教育長 サンビレッジ茜理事長)  
聞き手：三浦 清一郎 (生涯学習通信「風の便り」編集長)

第2部 「通学合宿」の30年を振り返る

登壇者：正平 辰男 (飯塚市庄内生活体験学校 館長)  
聞き手：古市 勝也 (交流会代表世話人 九州共立大学名誉教授)  
大島 まな (九州女子大学教授)

総括閉会式 11:30~12:00 2F講堂

「おらがまちの名物自慢」

あなたのまちの名物は何ですか?  
地酒・焼酎・つけもの・海産物……。  
毎回、参加者がお国自慢の品々を持ち寄り、  
その数なんと、約100種!

「オークション」での競売でもよし、「交流会2次会」での酒肴でもよし。  
御持参くださる方は、大会当日、専用受付にて、  
所属・氏名・物産品の品名・セールスポイントを  
御記入いただき、お預けください。

